

電気炉の試料準備

- ・電気炉では300 – 1373 Kの範囲で測定できます。
- ・スピナーによる試料の連続回転ができます。
- ・キャピラリの材質は熱に強い石英ガラスを推奨します。
- ・加熱膨張によるキャピラリの破損を防ぐため、若干陰圧(-0.05 MPa程度)で封止してください。
- ・コリメータは0.5(縦)×3.0(横) mmを使用します。
- ・下の図を参考に試料準備をお願いします。特にキャピラリ全長を60 – 70 mmにすることと、試料を先端から10 mm以上詰めることが重要です。

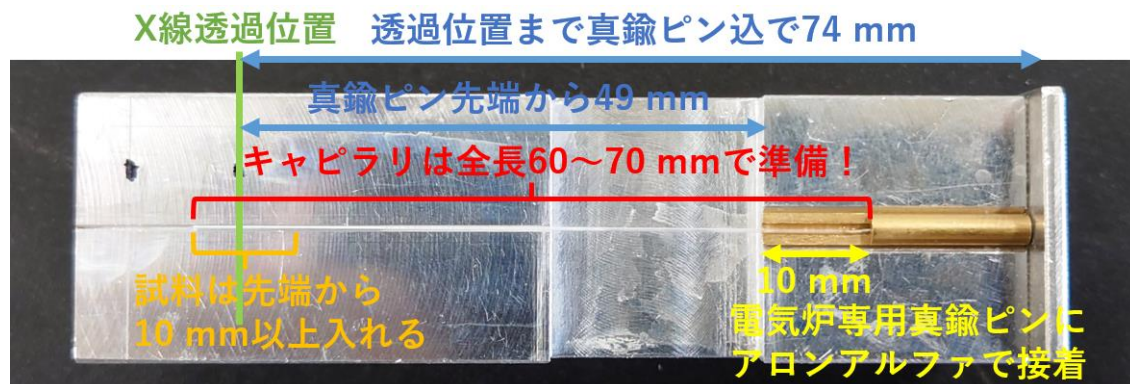


図1 専用真鍮ピンに装着したキャピラリ(写真は石英ガラス0.3 mmΦ)

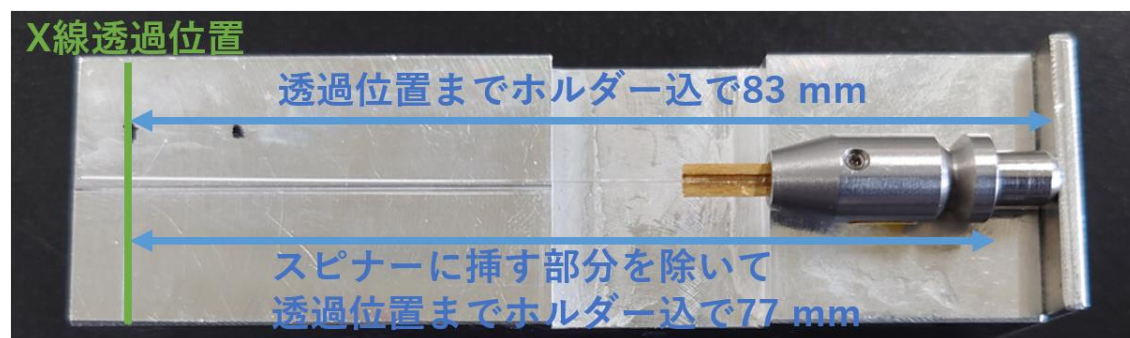


図2 真鍮ピンをホルダーに装着したときの状態。これをスピナー試料台に挿します。

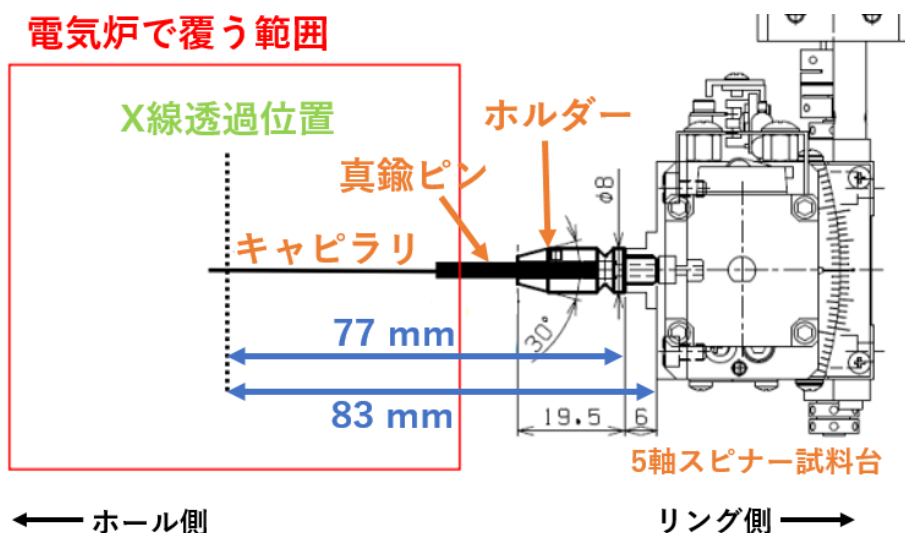


図3 5軸スピナー試料台に試料を挿したときのイメージ